

NEWS RELEASE

2026年1月15日

どろんこ会グループ、既存施設を「インクルーシブ型保育園」として多機能化 和光市の「医療的ケア児」受け入れを支援 ～2026年春、保育と児童発達支援を一体的に運営する完全併設園を開設～

どろんこ会グループは2026年春、既存の認可保育施設「メリー★ポピンズ 和光ルーム」（埼玉県和光市）を、「医療的ケア児保育」と「児童発達支援」の機能も兼ね備えたインクルーシブ型保育園として再編し、新たに事業を加え、運営を開始いたします。



既存施設をインクルーシブ型保育園として多機能化（※画像はイメージ）

保育園での「医療的ケア児」の受け入れは全国的な課題

医療的ケア児とは、経管栄養や、たんの吸引など、日常的に医療的ケアを必要とする子どもを指します。2021年には「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律（医療的ケア児支援法）」が成立し、社会全体での支援が求められるようになりました。



医療的ケア児を積極的に受け入れてきたどろんこ会グループ

医療技術の進歩により在宅で生活する医療的ケア児は増加し、2022年には推計2万人を超えていました（※1）。一方、地域での受け入れ体制は十分とはいえず、厚生労働省の調査では市区町村が直面する主な課題として、

- ・ 医療的ケアを実施できる看護師を確保できない（70.6%）
- ・ 施設設備が対応していない（62.6%）

が挙げられています（※2）。和光市においても同様の課題が顕在化しており、2024年2月には「和光市医療的ケア児等支援協議会」を設置するなど、支援の体制整備が進められてきました（※3）。

※1 「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」について（厚生労働省2021年）

※2 「令和4年度 医療的ケア児の地域支援体制構築に係る担当者合同会議」保育所等での医療的ケア児の支援に関するガイドラインについて（厚生労働省2022年）

※3 和光市医療的ケア児等支援協議会 概要（和光市2024年）

メリー★ポピinz 和光ルーム × (仮称) 発達支援つむぎ 和光ルーム (埼玉県和光市)



違いを認めて頼り合い、手を差し伸べ合うことを学ぶ

この度の再編は、和光市駅北口再開発に伴う園の移転を契機に、**医療的ケア児の受け入れ拡充を進める和光市と連携し、実現するものです。**

移転後の新施設では、**医療的ケア児の保育も行う「メリー★ポピinz 和光ルーム」**(※1)に加え、障害や発達に気がかりのある子どもを支援する**児童発達支援事業所「(仮称) 発達支援つむぎ 和光ルーム」**を完全併設する予定です。両施設を隔てる壁は設けず、一つ屋根の下で、全ての子どもと大人が混ざり合い、共に育つフル・インクルーシブ環境を実現します。また、移転先は現住所からほど近い新築マンション（和光市新倉1丁目11-5 GRANDE社）の1階で和光市駅から徒歩3分とアクセスもよく、**働く保護者を支える体制**も整えてまいります。

※1 医療的ケア児の受け入れは和光市による入所選考を経て決定され、原則として「メリー★ポピinz 和光ルーム」に在籍いただきます。

地域で医療的ケア児と保護者を支える受け皿の一つに



医療的ケアが必要な子どもが地域で安心して育つ社会へ

どろんこ会グループはこれまで、年齢の違いや障害の有無に関わらず、**全ての子どもが共に育ち合うインクルーシブ保育**を実践してきました。それは、多様な子どもが混ざり合う環境の中でこそ本物の「**にんげん力**」が育まれると考えるからです。医療的ケア児にとっても同様、社会から分離されることなく地域の子どもたちと共に生活する経験そのものが、健やかな成長にとって大切な要素となります。

この度の再編により、どろんこ会グループが培ってきた**医療的ケア児保育の知見**を生かし、これまで選択肢が限られていた和光市在住の医療的ケア児とその家族を支える新たな受け皿を創出します。

いよいよ始まった**保育所淘汰の時代**。どろんこ会グループでは、すでに運営中の認可保育所内のスペースを活用して児童発達支援事業所を設置するなど、常に時代のニーズを先取りした取り組みを実践してきました。この和光市の**多機能化モデル**においても同様、**地域の課題解決に貢献し**、日本の子育ての未来を創造してまいります。

どろんこ会グループについて

- 理念：「にんげん力。育てます。」—「にんげん力」を身につけるために必要な遊びや野外体験を提案・実践し、“自分で考え、行動する思考”を育み、若者が「0を1に変える力」で課題や困難に向き合うたくましい未来を創ります。
- 事業内容：認可保育園、認証保育所、事業所内・院内保育所、学童保育室、地域子育て支援センター、児童発達支援事業所、放課後等デイサービス、就労継続支援B型事業所など
- グループ内法人：社会福祉法人どろんこ会、株式会社日本福祉総合研究所（理事長 代表取締役 安永愛香）、株式会社ゴーエスト、株式会社南魚沼生産組合、株式会社Doronko Agri（代表取締役 高堀雄一郎）
- 施設数：約180施設 ●職員数：約2,700人 ●利用者数：約10,100人（2025年3月時点）
【HP】<https://www.doronko.jp> 【Facebook】<https://www.facebook.com/doronkokai/>
【X】@doronko_official 【Instagram】@doronko_official
【YouTube】https://www.youtube.com/@doronko_official

Doronko

【本リリースに関するお問い合わせ先】

どろんこ会グループ（東京都渋谷区渋谷1-2-5 MFPR 渋谷ビル13F）

広報部 小出 TEL : 03-5766-8059 Email : koho@doronko.jp